



## 気道狭窄に対し気管支インターベンションを行った症例の後方視的検討

2013年12月1日から2022年12月31日まで当院呼吸器外科で気管支インターベンション手術を施行した患者さん

### 研究協力をお願い

当科では「気道狭窄に対し気管支インターベンションを行った症例の後方視的検討」という研究を倫理委員会の承認並びに院長の許可のもと、倫理指針及び法令を遵守して行います。この研究は、2013年12月1日より2022年12月31日までに日本医科大学付属病院呼吸器外科にて、気道狭窄に対し気管支インターベンションの手術治療を受けられた患者さんの予後を調査する研究で、研究目的や研究方法は以下の通りです。直接のご同意はいただかずに、この掲示によるお知らせをもって実施いたします。皆様方におかれましては研究の主旨をご理解いただき、本研究へのご協力を賜りますようお願い申し上げます。この研究へのご参加を希望されない場合、途中からご参加取りやめを希望される場合、また、研究資料の閲覧・開示、個人情報の取り扱い、その他研究に関するご質問は下記の問い合わせ先へご連絡下さい。

### (1) 研究の概要について

研究課題名：気道狭窄に対し気管支インターベンションを行った症例の後方視的検討  
研究期間：研究実施許可日～2028年3月31日  
研究責任者：日本医科大学付属病院 呼吸器外科 講師(教育) 町田雄一郎

### (2) 研究の意義、目的について

当院で施行した気管支インターベンション症例の全身状態や治療方法などを検討し、有用な治療方法を明らかにし、患者さんの予後の延長やADL・QOLの改善につなげることを目的とします。

### (3) 研究の方法について (研究に用いる試料・情報の種類)

2013年12月1日より2022年12月31日までに日本医科大学付属病院呼吸器外科で、気道狭窄に対し気管支インターベンション手術を受けられた患者さんの臨床データや画像データ、病理学的データなどを解析します。

この研究は、患者さんの以下の試料・情報を用いて行われます。

試料：なし

情報：年齢、性別、喫煙歴、全身状態、呼吸機能、採血データ、画像検査、術式、原発臓器及び治療内容、生命予後の確認、全身状態の確認、追加治療の有無

### (4) 個人情報保護について

研究にあたっては、個人を直接特定できる情報は使用いたしません。また、研究発表時にも個人情報は使用いたしません。その他、「人を対象とする生命科学・医学系研究に関する倫理指針(文部科学省・厚生労働省・経済産業省)」および「同・倫理指針ガイダンス」に則り、個人情報の保護に努めます。

### (5) 研究成果の公表について

この研究成果は学会発表、学術雑誌などで公表いたします。

### (6) 問い合わせ等の連絡先

日本医科大学付属病院 呼吸器外科 講師(教育) 町田雄一郎  
〒113-8603 東京都文京区千駄木1-1-5  
電話番号：03-3822-2131(代表) 内線：6666  
メールアドレス：y-machida@nms.ac.jp